

旧鳥取高等農業学校本校舎の解体撤去について

解体が予定されている吉方の旧鳥取高等農業学校本校舎について、状況を報告します。

①文化財の性格 ⇒別紙の通り（『鳥取県の近代化遺産』

ただし、平成 13 年に大部分解体され、全体としての価値は低下

②これまでの経緯

- ・平成 13 年 液晶工場の増設に伴い大部分を解体撤去
 - ※高等農業学校・鳥取大学同窓会の保存運動あり。
 - ※講堂の一部を鳥取大学に移築保存・部材については三洋電機が一部保存
 - ※講堂・本校舎全体が残った状態で、写真記録を作成（文化財課・博物館）
 - ※三洋電機より、取得当時の建造物の図面がやまびこ館に寄贈される。
 - ※調査成果をやまびこ館で展示する映像としてまとめる。
- ・平成 24 年 10 月 現存部分の撤去の動きについて県に情報提供
 - ※県・市文化財課で保存の方策を検討した。
 - ※保存状態が悪いので文化財指定は不可能と判断し、記録保存を行うこととした。
- ・平成 24 年 10~11 月 解体撤去に伴う記録保存調査を実施（県・市共同）
 - ※部材の一部について、鳥取市歴史博物館への寄贈を依頼（三洋、了承）
- ・平成 24 年 2 月 28 日 やまびこ館学芸員と同行し、三洋電気と部材寄贈について協議
 - ※平成 13 年の解体時に三洋電気が保存していた講堂等の部材を引き取る。
 - ※扉、ルーバー等、平成 13 年の解体で外されていた部材を引き取る。
 - ※これから取り壊される建物については、一部部材の取り置きを依頼。
⇒三洋承諾（可能な範囲で対応）
- ・平成 24 年 3 月現在
 - ※解体手続きの疎漏のため、解体工事は遅延している
 - ※鳥取県議会が「保存のための働きかけ」を議決したが、現時点では状況に変化はなく、手続き後解体されるものと思われる。

③今後の対応

- ※建物が解体された場合、三洋電機よりやまびこ館に必要な部材を引き取る
- ※部材を引き取った場合、やまびこ館の展示等での活用を検討する
- ※同じく三洋電気の所有する旧鳥取四十連隊隊舎建築群について、状況を注視し、場合によっては記録保存等の措置を講じる